

青少年のための科学の祭典2001

於：ライフパーク倉敷 2001. 10. 27～28

参加者 高松（仁美小）松本（国府小）田辺（福浜小）
八谷（幡多小）福井（伊島小）



今年も「青少年のための科学の祭典」が11月27日～28日の2日間、ライフパーク倉敷で開催されました。今回静観台グループは「プロペラごまを飛ばそう」という科学工作をやりました。これは『風ゴマ』などとも呼ばれる薄いプラスチック板で作った十字型の小さなコマです。このコマを机の上に置き、真上から息を吹きかけるとコマはグルグル回り始め、息を強くして回転スピードを上げていき、最後に強くひと吹きするとコマが数十センチ飛ぶというものです。上から息を吹きかけているのに風に逆らうようにしてコマが飛び上がるところが不思議なコマです。秘密はどうも十字になった4枚の羽根のひねりにあるようですが、揚力によるものなのかどうか本当のところを福井は分かりません。どなたかご存じの方は教えてください。

今回の祭典では発泡スチロールトレーで作るグライダーが良かったです。発泡スチロールトレーを工作に使おうとすると、たいていは底の平らな部分だけを使って、周りの斜めになった部分は捨ててしまうものですが、このグライダーはトレーの縁の斜めの部分を使って主翼の先端をそり上がらせることで大きな揚力と安定性を得ているところがじつにうまいアイデアだと思いました。

ライフパーク倉敷での「青少年のための科学の祭典」も連続3回目となり、子供達の反応がいまひとつだと感じるのは福井の思い過ごしでしょうか？ 同じ場所でイベントを開催すると、どうしてもリピーターの子供達から「あぁ、これ知ってる」というような感想がでてしまいます。岡山を4つに分け、高梁・津山・岡山・倉敷で順番に開催していけば、より多くの子供達や先生に科学の楽しさを伝えることができるのに、と余計な心配をしてしまいました。